

# にしんち 議会だより

2023.1.20  
No.184

## 日本一早い山開き 鹿狼山元旦登山

### 〈12月定例会〉

- 定例議会の概要..... 2～4
- 町政を問う ..... 5～13
- 議会を傍聴して ..... 14～15
- 常任委員会レポート ..... 15～17
- ようこそ新地町へ ..... 18

12月  
定例会

# 全13議案可決！

12月定例会のあらまし

令和6年12月定例会は、12月6日から11日までの6日間の会期で開催され、犯罪被害者等支援条例の制定や職員等の給与に関する条例の一部改正、一般会計・特別会計補正予算など13議案を審査し、原案のとおり可決した。  
また、9日と10日には8名の議員が一般質問を行った。

## 補正予算

### 一般会計補正予算（第5号）

#### 歳入歳出それぞれ

#### 9900万円追加し

#### 総額69億814万円に

### 主な質疑

**問** 歳入で、町有財産貸付収入が100万円あった。工事等の現場事務所の利用とのことだが、まだまだ町内に貸し付けできる場所があると思う。現状は。  
**回答** 今回は、県や高速道路等の工事に伴うもの

で、需要があれば、相談に応じて貸し付けを行う。

**問** 尚英中学校の空調機更新工事の具体的な中身は。  
**回答** 校長室、職員室、放送室等の空調、室外機等の故障により、機器の更新・入れ替え工事を行うもの。

**問** 犯罪被害者等支援事

### 一般会計補正予算の主な事業

尚英中学校空調機更新工事	1,150万円
障害福祉サービス費など	450万円
町営住宅修繕費	357万円
戸籍への振り仮名の法改正に伴う 通知書作成業務委託料	254万円
道路等維持補修業務	169万円
犯罪被害者等支援事業	110万円

業の補正内容は、犯罪被害者や遺族に対しての見舞金等の支給があり、それぞれ1名分ずつ予算計上するもの。  
**回答** 支援内容には、犯罪被害者や遺族に対しての見舞金等の支給があり、それぞれ1名分ずつ予算計上するもの。



見舞金等の種別	金額	対象者
遺族見舞金	60万円	犯罪行為により亡くなられた方の第1順位の遺族
重傷病見舞金	30万円	犯罪行為により重傷病を負われた方
転居費用助成金	20万円	上記の見舞金に該当する方のうち、犯罪により従前の住居に居住することが困難になり、新たな住居へ転居される方

## 条例

### 条例の読点の表記を改める条例の制定

国の公用文及び社会一般の文書における読点の表記の実態等をふまえ、本町の条例に用いられている読点の表記を一括して改めるもの

### 犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援に関する基本事項を定め、犯罪等の被害に遭われた方の権利利益の保護並びに被害の軽減及び回復を図ることにより、町民の誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指すし、新たに条例を制定するもの

### 職員の給与に関する条例の一部改正

福島県人事委員会勧告に準じ、全ての号給の給料月額を引上げ、一般職員の期末手当を0.05月分、勤勉手当を0.1月分、定年前再任用短時間職員（暫定再任用職員）の期末手当及び勤勉手当をそれぞれ0.025月分、支給割合を引き上げるなどの改定等を行うため、所要の改正を行うもの

### 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

福島県人事委員会勧告及び職員の給与に関する条例改正をふまえ、期末手当の支給割合を0.1月分引き上げるため、所要の改正を行うもの

### 税条例の一部改正

公益信託の制度改革により、令和6年度税制改正大綱において、住民税の寄付金控除の改正など公益信託制度に対する税制上の措置が講じられることになったため、町税条例の所要の改正を行うもの

### 国民健康保険条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年12月2日に健康保険証が廃止（保険証の発行は終了）されるため、所要の改正をおこなうもの

### 個人情報の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

マイナンバーカードと健康保険証が一体となることに伴い、令和6年12月2日より健康保険証は廃止されるもの

## 契約

### 広葉樹林再生事業 白子下地内外 森林整備等業務委託変更契約

施業地を追加することによる、増額の変更契約を締結するため、議会の議決を求めるもの



▲原木林資源の循環利用促進

# 犯罪被害者等支援条例の制定や 補正予算など

# 臨時会

11月7日に開催され、町長から提案された専決処分1件、鹿狼山駐車場整備工事請負変更契約について、原案のとおり承認・可決した。

## 専決処分

緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がなかったことから、地方自治法の規定に基づき専決処分し議会の承認を求めるもの

### 令和6年度新地町一般会計補正予算(第4号)

衆議院議員総選挙に対応するため、歳入歳出794万円を追加

## 契約

### 鹿狼山駐車場整備工事請負変更契約

土質改良工等の設計変更により、工事請負金額するもの  
1674万6400円を増額するもの



▲整備工事が進む鹿狼山駐車場

## 請願・陳情・要望等(12月定例会)

議会では、地域住民より直接の声となる、請願、陳情、要望等を受付けています。今定例会では、下記のとおり受付ました。

	件名	提出者	審査結果
請願	「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願	福島県弁護士会 会長 鈴木 靖裕	採択 (意見書送付)
陳情	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治	議員に 印刷して配布
	「最低賃金法の改正と中小起業支援の拡充を求める意見書」の提出について	相双地方労働組合総連合 議長 大友 浩介	
要望	令和7年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	
	令和7年度教育関係事業及び予算に関する要望書	新地町小・中学校 PTA連絡協議会 会長 伊藤 佳枝	

## 議会を傍聴しませんか

★次回の定例会は、3月初旬開会の予定です。  
議会は、所定の用紙に必要事項を記入して頂くことにより、どなたでも自由に傍聴することができます。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
議会事務局 (新地町役場3階) ☎62-2190 (直通)

## ただここを質す!

# 一般質問

# 町政を問う

今定例会の一般質問は、12月9日・10日に行いました。  
議員8名からは21件の通告があり、給食費無償化や物価高騰対策、人口増加施策などについて質しました。  
各議員からの質問内容は、左記のとおりです。  
以下、主な質問と答弁を、登壇した順にお知らせします。

## 8名の議員が質問

(通告順)

おお うち ひろ ゆき 議員 P6

- 1 給食費無償化について
- 2 小・中学校の統合再編について
- 3 UDCしんちの運営について

てら しま ひろ ふみ 議員 P7

- 1 教育行政について
- 2 地域公共交通について
- 3 環境行政について

よし だ ひろし 議員 P8

- 1 異常気象及び自然災害の対策について

や まき ひで ゆき 議員 P9

- 1 快適で活力ある町づくりについて
- 2 災害に強く安全安心な町づくりについて

いの うえ かず ふみ 議員 P10

- 1 物価高騰対策の拡充について
- 2 移住定住の取り組みについて

てら しま ひろ ふみ 議員 P11

- 1 空き家対策について
- 2 スポーツ合宿による交流人口増加策を
- 3 DX推進ビジョンについて

うし さか つよ し 議員 P12

- 1 新地駅周辺市街地整備事業(土地区画整理事業)について
- 2 新地町の農業政策について
- 3 新地町の人口増加の政策について
- 4 物価高対策について
- 5 旧新地高校跡地について

むら かみ かつ のり 議員 P13

- 1 町道新地駒ヶ嶺線の拡幅・改良について
- 2 地場農産物の普及促進と付加価値について



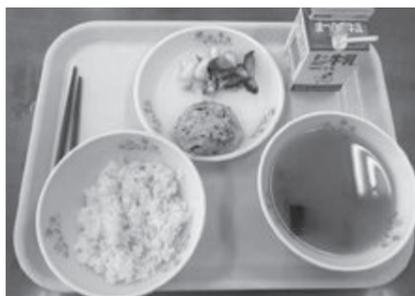
大内広行 議員

# 学校給食費無償化早期対応を！

## 回答 年度当初実施に向け前向きに検討

**問** 周辺自治体はすべて給食費が無償化されている。当町においても早期に実施しなければ、子育て世帯の流出にもつながりかねない。財源を確保し、早期に対応すべき。

**回答** 町では、給食で使用するコメの購入費（今年度590万円）の全額補助、物価高騰による給食費値上がり分（昨年・小中合計258万円）を補助し保護者の負担軽減を図っている。給食費に係る経費は、小・中学校合わせ、年間4千万円程度必要、無償化のためには、新たな財源を捻出しなければならぬ。



▲小学校のある日の給食

が、格差なく取組めるよう国・県に要望すると共に、保護者の子育て支援のため前向きに検討する。

**問** いつまでにどのような方向性で検討するのか。

**回答** 無償化を年度当初より実施に向け検討する。

定住を促進しており、現段階では統合・再編は考えていない。また、今後の児童生徒数の推移、地域と学校の関わりなど様々な見地から検討が必要だが、現時点では検討委員会の設置は考えていない。

**問** 学校の統合・再編に関する検討委員会を設置の考えは

**回答** 現時点で検討委員会の設置は考えていない

**問** 構成団体と持続的な活動の定着に向け働きかけていく

**回答** 構成団体と持続的な活動の定着に向け働きかけていく

**問** 加速化する少子高齢化と人口減少、町内の保育所のあり方、小・中学校の統合または再編について、検討委員会を設置し早期に検討を開始すべきではないか。

**回答** 本町においても少子化傾向にあり、来年度の小学校入学予定は68名、R8年度は52名、R9年度51名、R10年度47名の見込み、町では、若者世代を中心とした町内への新たな移住・

**問** 東京大学大学院生が町内で活動している。その補助事業がR7年度までと聞く。以降の対応は。

**回答** 事業終了後も持続的な活動として定着していくことが重要。今後さらに構成団体とともに検討を深めるよう働きかける。

**問** まちづくり拠点として積極的に事業を行うための運営スタッフの確保等体制整備は。

**回答** 息の長い活動にす



▲最先端のエネルギー管理に触れる参加者

るため、着実な取組みを進める。運営スタッフ確保等についても構成団体と協議を進める。

**問** UDCしんちの目的である地域の人材育成と、住民による活動の持続的な支援は。

**回答** 今夏に開催した「夏の学校」に16名の町内の中高生が参加、東京大学柏キャンパスでの経験は大いに刺激があったと思う。今後の活動に期待している。また、地域食堂やいぢくの6次化の取組みが生まれており、町としてもUDCしんちでの地域人材育成、活動支援について構成団体の一員として引き続き取り組んでいく。

# 小・中学校の給食費無償化を

## 回答 前向きに検討していく



寺島博文 議員

**問** 全国規模で学校給食費無償化の動きが広がっている。子育て世帯の負担軽減のため、新地町独自子育て支援事業として、学校給食費を無償化すべきだ。

**回答** 自治体間の格差をなくすよう、国・県に要望するとともに、保護者の子育て支援のため、前向きに検討していく。

**問** 会場ホールの出入口や、トイレの位置がわかりづらいとの意見がある。

**回答** 利用者の皆様が利用しやすくなるよう、できる範囲で改善して参りたい。

**問** 来場者の大半は新地駅前駐車場を利用する。駐車場出入口はゲート式となっており、入退場時は大混雑する。イベント開催時は混雑防止の為、ゲートを開放し使用させるべきだ。

**回答** 新地駅前駐車場は、文化交流センター、商

業施設の駐車場、またJR新地駅の一時利用者、月極駐車場の駐車場も兼ねている。ゲートを開放すると、入庫台数の管理が出来なくなる。収容台数以上の車両が入る事で、月極駐車場の区画まで占用する事にもなる。よって、ゲートの開放は考えていない。

**問** 各種団体の控室（着替え室など）が確保できない。新たに改装増設すべきでないか。

**回答** 控室は、交流センター整備計画当初より、スタジオ1・2を控室として使用する事を想定していた。その他、会議室1・2など使用時間の調整をしながら使用いただいている。控室の増設は考えていない。

**問** 文化交流センター中央にある、中庭を改修して利活用できないか。

**回答** 会場ホール・展示コーナー・中庭・観海堂公園一体での使用もある。中庭を控室として活用する考えはない。

**問** しんちゃんバスの利用状況は、4ヶ月平均で76人である。一日あたり3人に満たない。しんちゃんバスは、当初計画、月955人に対し、実績76人で、ほぼ空気を運んでいるに等しい。民間なら即刻廃止だ。一旦立ち止まり、再検討の上、再出発してはどうか。

**回答** 乗車についてのデータが集まってきている。また、出前講座10数箇所を行った。要望意見を踏まえ見直しを進めながら、運行を継続して参りたい。



▲見直しが求められるしんちゃんバス

**問** ごみ焼却後の灰は、現在いわき市の灰処理業者へ搬入し処分している。当町にも一般廃棄物最終処分場がある。当初の計画とおり、埋め立て処分すべきでないか。

**回答** 現在の埋立てしている箇所は、第1期計画のもので、平成6年4月よりごみ搬入が開始された。今後17年間埋め立て可能だが、焼却灰を新たに搬入した場合、10年間で満杯になり2期計画が必要になる。当時から、法改正等により、環境基準や生活環境影響調査、更には新たな水処理施設の建設が必要になる事から、多額の事業費が見込まれる。よって、第1期分の埋立を延命化することが、中長期的にみて、町の財政負担を軽減することになる。また、新たな埋め立て処分地を検討する事になれば難航するのは必至である。

令和7年1月20日



吉田 博 議員

# 異常気象の災害対策を

## 回答 備蓄体制の強化を図る



▲町の防災備蓄倉庫

**問** 異常気象等で、線状降水帯などこれまで体験したことのない災害に対応する新たな救命対策として、ゴムボートなど準備すべきと思うが、町長の考えを伺う。

**回答** 近年頻繁に発生する極地集中豪雨や、台風の大規模化、大規模地震など異常気象による災害は予想をはるかに超えた規模になっており、災害に備え食料品や生活用品、資機材等を備蓄しているが、ゴムボートの準備については町の保管

スペースには限界があることから、レンタル機材を含め複数企業との優先的提供などの協定の中で行う。

**問** 町内で竜巻が発生した場合、町民を避難させる安全な場所の周知はしてあるのか伺う。

**回答** 竜巻に関する情報は気象庁から発表される。現時点で事前に発生場所を特定することは難しく、避難所の開設についても現実的に困難と考える。新地町防災マップを参考に、頑丈な建物に避難することを優先したい。

**問** 高気温や熱波等による農作物や、人畜の被害が各地に多く発生しているが、これらの災害を未然に防ぐ方法は少なく、町としてどのような対策ができるのか検討すべきでないか伺う。

**回答** 昨今の異常気象により全国的な社会被害があることは承知している。農業においては、猛暑により作物に育成不良、葉焼け、着果不良などがあり、JAと連携して情報提供に努力している。

**問** 町民には、塩飴などを配布するとともに、環境省より発信される「熱中症警戒アラート」を防災無線で発信し、暑さを感じた場合は、役場、図書館、文化センター、福田、新地、駒ヶ嶺の各郵便局を「涼み処」に設定しているので活用してほしい。

**問** 近年国内の地震が頻繁に起こっており町の公共施設等の耐震調査をするべきではないか伺う。

**回答** 公共施設の耐震性については、昭和56年以降の新基準に基づき調査した結果、町内12施設のうち、6施設が適合し、残り6施設は改善や用途変更などで、おおむね満たしている状況にある。



▲さまざまな訓練で防災力強化

**問** 異常気象や地震・津波等が頻繁に発生しており、これまでの防災訓練の在り方など検証すべきではないか伺う。

**回答** 当町の防災訓練は地域ごとリスクを想定した訓練を消防団とともに実施しており、これまでの訓練方法の検証を行った上で、防災力の強化を図ってきたい。

# パックご飯の企業誘致を

## 回答 関連企業を誘致する



八巻秀行 議員

**問** 相馬市は、山形県鶴岡市のドリームズファームと工場立地に関する基本協定を結んだ。新工場は、相馬中核工業団地西地区に2.1畝の用地を確保して、新工場では30人の雇用を見込み、2026年3月末の操業開始を目指している。また、県産米を使用して1年間生産額は25億6600万円を想定している。同社は、JAふくしま未来が昨年市内に整備した「そうま日立木カントリーエレベーター」の米を使い、相馬市周辺の水田で原料米を生産するとしている。

**問** この情報を聞いてハッとしました。12年前から提案していたLNG冷熱使用（マイナス162度）により、パックご飯の製造工場誘致を思う。

一足遅い感があるが、当町には石油資源開発㈱があり、工業用地もある。新潟東港のパックご飯企業の様な企業誘致を図れば相馬市

の後押しにもなる。この地域の宝を活用し、冷熱利用の企業を誘致する事をどう考えるか。

**回答** 相馬LNG基地内のLNGタンク、LNG気化設備、相馬岩沼間ガスパイプライン工事が完了し、全面操業開始している。当町のこの様な天然ガス供給基地があることや相馬港の利便性を含め当町の特色をPRしながら今後も関連会社と情報交換連携し、パックご飯の企業を含め県と共に企業誘致に努める。

**問** この相馬市の企業誘致がどんどんと農業分野までも拡大している。こうした相乗効果を図ることが大事だ。こうした企業誘致に努めるべきではないか。

**回答** 広い視野で取組む。首都圏残土埋立ては

**問** 今泉地区の山林に首都圏の工事残土が運び込ま

れ、地区町民は困惑している。横浜湘南高速道路の掘削残土で、土壌の証明もついた土壌であるが、相馬港2号ふ頭に陸揚げされたものを今泉の大戸浜へ続く「命の道」の西斜面の窪地に6月頃から10トンプ2台位で運搬していた。11月18日に確認してきたが、最近運搬してこないが、現地は町に令和6年6月28日に伐採届を出しており、伐採期間は令和7年1月末と

なっている。町盛土条例にも影響するこの首都圏工事残土をどう考えているか。また、本計画の当該町民に対する説明はどうなっているのか。そして、町民に不安を与える事案は中止すべきでないか。

**回答** 町は本年3月に「土砂等による盛土等の規制に関する条例」を施行した。県では、

6月に「土砂等の埋立て等の規制に関する条例」を施行し、許可対象は、事業区域が3千平方メートル以上となり、この埋め立てについては、事業規模から県条例により、許可の可否決定すると認識している。町民に対する説明は、県に確認したところ、申請書類に添付する工事周知チラシの写しを確認しており、今泉地区で回覧されたことや付近住民への説明も確認している。



▲工事残土が運び込まれている現場



井上和文 議員

# 移住、定住の取り組みを

## 回答 検討し対応する

**問** 議会だよりの裏表紙に移住者のインタビューが載っており、素晴らしい町なの知らない人が多い、駅前賑わいがいい、通学路も含め街灯がない、嫁にきてスパーがないのに驚いた、子育てしやすい町に、断水時の入浴券に感謝、学校給食費の無料化、仙台に1時間以内で行けるのは、非常に便利、等々の声がある。移住を進めるには、仕事、子育て支援、暮らしやすさのテーマがあると思う。

まず新地町を知ってもらおう関係人口（観光客以上定住者未満）増加の取り組みだ。視察した山形県西川町では地域おこし協力隊インターン制度（移住要件がなく期間も短期間）を活用し140人が町を訪れ、リピート率は20・2割、地域おこし協力隊は16人、移住者は7人に繋がったとのこと。新地町では平成30年7月から令和4年5月まで募集し、応募が1件、採用している状況だが、地域おこ



▲まちづくりへ多くの声がある

し協力隊インターン制度を活用し、関係人口を増やしていくべきだ。また若い人々に発信するにはSNSの取り組みが求められる。ホームページの移住・定住のコーナーもわかりやすく大きくすべきだ。さらには震災後落ち込んでいた新地町を利用してもらうために、仙台圏を見据えた取り組みが重要だ。

子育て支援では、学校給食費の無料化と保育料の無

料化だ。学校給食費の無料化は県内で35市町村が完全無料化だ。どこの市町村でも財政に余裕があるわけではない。予算全体の中で子育て支援を進めるという決断が求められる。

暮らしやすさでは、しんちゃんバス路線拡大と手を挙げれば乗れる自由乗降やスパー誘致が喫緊の課題だ。地元商工会とも真剣に協議すべきでは。

**問** 三大都市圏からの移住等ハードルが高いので、ご提案のインターン制度の活用も検討し隊員も増やしていきたい。SNSを活用した関係人口増加にも取り組む。町は不交付団体だが、厳しい状況である。国や県の力を借りて取り組む。スパー誘致のため、約20社にあたっており、意見を受け今後検討し、取り組む。

### 物価高対策の拡充を

#### 回答 国、県の動向を注視

**問** 寒さが厳しくなり長引く物価高騰から町民の暮らしを守る取り組みが求められる。拡充策や福祉灯油、電気代、ガス代、ガソリン代等一時的でなく長期の取り組みを国に求めるべきだ。

**回答** 国の「重点交付金」の通知は来ているが配分等を見ながら考えていく。国でも物価高対策が最重要課題としてるので町として要望していく。



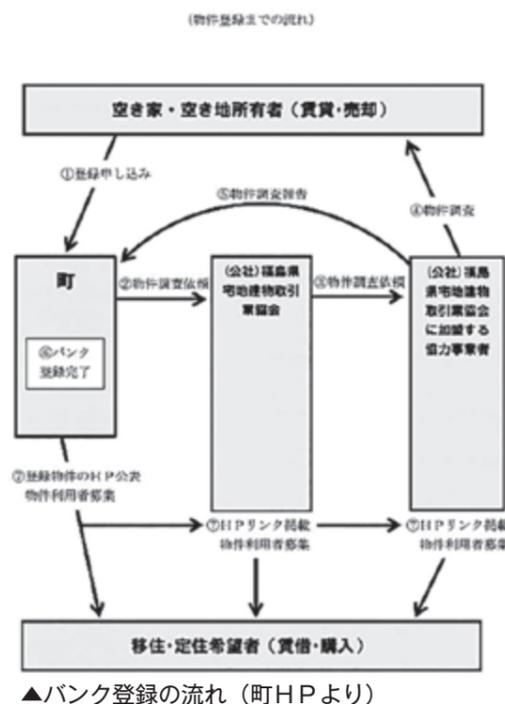
寺島浩文 議員

# 空き家対策に民間と連携を

## 回答 可能な部分は連携

**問** 以前の一般質問で、一番の問題は、空き家・空き地バンクへの登録者が少ないという事であった。担当課では登録を促す書面を送付しているという事であるが、その後のフォローが出来ていない様である。そうであれば不動産取引や相続関係等に詳しい民間業者と連携し、空き家・空き地の所有者と利用者のマッチングや、併せて移住に関する相談などを一手に引き受ける組織を立ち上げ、相談窓口の設置を検討するべきではないか。

**回答** バンク登録については、広報誌や町ホームページ、町外者への郵便により各種情報提供しているが、登録される件数は少ない状況である。民間との連携については、現在、公益社団法人福島県宅地建物取引業協会と協定を結び、バンク運営について各種アドバイス等の協力を受けている。現在、都市計画課に相談窓口を設置しており、今後も相談窓口の周知を図るとともに、空き家・空き地の活用を促進する方法を検討する。



**問** 空き家・空き地バンクを設置してから5年ほどであるが、賃貸や売買が成立した件数は7件に留まっている。今後も増え続ける空き家の事を考えると対策が追いつかないと思う。近隣自治体では、民間の事業者と、法人格を持つ組織を立ち上げ、空き家・空き地の所有者と利用者のマッチングに取組んでいる。当町と規模は違うが、こういった取り組みを参考にしながら検討してはどうか。

**回答** 他市町村での取組みは承知している。当町でも民間と連携できる部分については連携し、空き家の利活用ができるよう進めていきたい。

### DX推進ビジョンの進捗状況は

#### 回答 17業務をガバメントクラウドに移行

**問** 国のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画により、町でも新

地町DX推進ビジョンを策定し、DXに取組んでいる。取組む目的は「住民サービスの向上」「社会基盤の整備」「行政運営の変革」である。現在の進捗状況はどの様になっているのか。

**回答** 「住民の利便性向上」については、住民票や戸籍税関係書類のコンビニ交付を実現。「社会基盤の整備」としてマイナ保険証の利用促進やパソコン・スマホ教室を実施。「行政運営の変革」については、地方公共団体の主要な基幹系17業務を国の策定する標準仕様「ガバメントクラウド」を活用したシステムへ令和7年度まで移行する準備を令和5年度から行っている。DXの推進体制については、DX推進本部を設置し、課長以上の職員で構成し、町長を本部長とし、副町長を最高情報統括責任者として取り組んでいる。また、各課において役割に関わらないDXリーダー15人を設置した。



牛坂毅志 議員

## 新地駅周辺市街地整備事業は

### 回答 固定資産税評価額影響はない

**問** 駅周辺の土地の固定資産税評価額が（国税、県税、町税）町民に影響を及ぼすと考えるが、どのように考えているのか町長の考えを伺う。

**回答** 新地駅周辺市街地整備事業（土地区画整理事業）の実施による固定資産税評価額への影響はない。



▲新地駅周辺



▲新地エネルギーセンター

**問** 新地スマートエナジー（株）について事業内容がどのような状態なのか、町長はどのように考えているのか町長の考えを伺う。

**回答** 指定管理者として2018年12月から新地エネルギーセンターの管理運営を行っている。今後、安定的な経営基盤、効率的かつ効果的な施設運営を求めたい。

**問** 新聞報道によると新地町とJAふくしま未来と農業振興協定と報道がされたが、どのような内容の農業振興協定か。

**回答** 協定の内容は大きく4項目。1つ目は、農業の生産と向上に関すること。2つ目は、地域の活力に関すること。3つ目は、持続可能な農業と地域社会の実現に関すること。4つ目は、東日本大震災からの復興と風評被害払拭に関すること。

**問** 町長は新地町の農業政策についてどのように考えているのか伺う。

**回答** 現在、町が力を注いでいることは、誰がこの農地を耕作しているかが視覚的に判るようにすること。

**問** 新地町の人口増加の政策を町長はどのように考えているのか、町長の考えを伺う。

**問** 町長は物価高対策について、町民、事業者に対しての対策をどのように考えているか、町長の考えを伺う。

**回答** 物価高対策は、既の実施してきた。今後も、国の交付金も活用しながら、施策を検討したい。

**問** 物価高対策について

**問** 町長は物価高対策について、町民、事業者に対しての対策をどのように考えているか、町長の考えを伺う。

**回答** 物価高対策は、既の実施してきた。今後も、国の交付金も活用しながら、施策を検討したい。

この他、旧新地高校跡地について質問がありました。



村上勝則 議員

## 町道新地駒ヶ嶺線の拡幅・改良

### 回答 立田川橋は設計に着手

**問** 新地駒ヶ嶺線は交通量も多く、通学路にもなっており、計画中の駒ヶ嶺地区の進捗状況はどうなっているのか。

**回答** 駒ヶ嶺地区は、道路部については調査設計が完了し、地権者への説明や境界立ち会い等を行っている。また、土地の価格を決定するための不動産鑑定業務を発注したところであり、その結果により価格交渉を行う。立田川に架設を計画している橋梁は、設計に着手することになっている。



▲駒ヶ嶺・立田川橋周辺



▲小川坂越地区

**問** 小川の坂越地区は、国道6号と近接しており、事故多発場所でもある。町道部分の改良等は考えているのか。

**回答** 小川坂越地区は、町の事業としては事業化していないが、令和5年10月に実施された、新地町通学路安全推進会議による合同点検により10箇所が点検された。その中で、当箇所は国道6号の歩道設置の要望があり、その後、国土交通省に働きかけを行っていた。また、福島県道路交通環境安全推進連絡会議アトバイ

**問** 新聞報道によると新地町とJAふくしま未来と農業振興協定と報道がされたが、どのような内容の農業振興協定か。

**回答** 協定の内容は大きく4項目。1つ目は、農業の生産と向上に関すること。2つ目は、地域の活力に関すること。3つ目は、持続可能な農業と地域社会の実現に関すること。4つ目は、東日本大震災からの復興と風評被害払拭に関すること。

**問** 新地町の人口増加の政策を町長はどのように考えているのか、町長の考えを伺う。

**問** 現在、町が力を注いでいることは、誰がこの農地を耕作しているかが視覚的に判るようにすること。

**問** 新地町の人口増加の政策を町長はどのように考えているのか、町長の考えを伺う。

**問** 町内には多くの農産物があり、地産地消はもちろん、新たな利用方法や加工、販売等の6次化を含めた付加価値をつけることで、農産物の拡大を図るべきでは。

**回答** 地場農産物の加工食品類が開発、商品化、販売され、進行形のものもあるが、付加価値をつけることは容易ではない。また、新たな利用方法や加工、販売等は生産者が考案するものと考えられる。

**問** 農家の収益向上を図る必要があるのでは。

**回答** 農家の収益向上は農業の魅力を感じさせる。町では、意欲ある相談があれば、事業スキームを支援していきたい。また、これまでさまざまな形や場所でのPR活動を実施しており、町や観光協会、特産物振興協議会においては、各地で行われる物産展等に出展し、今後も新たな取り組みに対し、前向きに検討し普及に努めたい。

# 議会傍聴

議会では、多くの方に議会活動等を理解していただくため、議会の傍聴を受け付けています。

12月定例会では、21名の方が議会を傍聴され、行政区分長に議会を傍聴しての感想などをいただきました。



## 議会を傍聴して

希望がある町に  
なるために

第1行政区分長  
渡邊 祐吉

12月定例議会の一般質問が2日間行われました。私自身は傍聴席で議会を傍聴するのは初めてで、どんなやり取りが行われるか注目し、傍聴に行きました。

私が気になった質問は、相馬港のLNGガス関連の製造工場についてでありました。LNGガスを利用した企業の誘致についてどう考えているかとの質問に対し、町当局は、天然ガス供給基地があることや相馬港の利便性をPRして県とともに企業誘致をしていくとの回答でした。新たな企業進出は今後の町にとって大きな意味を持っていると思います。具体的な見通しや進捗状況についてはいまひとつ明確な回答ではなかつ

たように感じました。

現在、日々生活をしていると以前よりも農業を行う方が減っているなど感じています。農家が減って耕作放棄地などが増えてしまうと、イノシシなどの有害鳥獣の住処となり更なる農作物への被害が予想されます。ぜひこのような状況を打破するための活発な議論を今後期待したいです。

これからの新地町はちよつとでも希望がある町になって欲しいですが、そのためには現状に満足せず、人口減少への対策や企業の進出の手助けになるような事業を進めていかなければなりません。町議会の方々は町当局に依頼するだけではなく、一緒となり色々な可能性を探り、議員一人ひとりが独自でそのような情報を集めたり、事業を進めるくらいの意気込みが必要だと思います。

町民の声を  
聞きながら

第10行政区分長  
小野 春雄

12月の町議会の定例会において行われた一般質問を傍聴しました。私個人的には行政区分長として議会傍聴をこれまで複数回経験しております。その中で感じることは、いずれの時も町当局側で出席をしている各課長の方々が女性が少ないことです。国際社会的に見ても日本は女性管理職の割合が低いとされている中で行政の方からこの状況を変えてもらいたいです。

今回の質問の中で学校給食費無償化についてのものがありました。複数の議員から質問がされていたのでそれを望む声が多くあるのかと思います。町の回答は財源捻出等もあり、すぐの無償化は難しいのではないかと受け止められるものでした。町民の関心が高いので、引き続き議論を深めて

もらえればと思います。

私は漁業を生業としており、釣師浜漁港は豊富な魚種が水揚げされており、それを買うことができず、それを買わないかと尋ねられることが度々あります。新地町の海産物のアピールのためにも買うことが出来る施設があればいいと感じています。また、町の魚であるカレイが現状少なくなって、代わりにヒラメなどが取れるようになってきております。議員の方にはそのような現状を知ってもらい町民の声を町政に届けたいです。

これからの町の発展には若い人の力が必要だと考えています。近隣市町村では若い人への支援策を積極的に実施しており、地域おこし協力隊として地域活動に参加していると聞いたことがあります。このように若い活力がある方をサポートして、それが将来的にこの新地町を元気にしていくのではないのでしょうか。

## その他傍聴者の意見

### 新地町の現状について

- ・活気がなく残念。
- ・地域のコミュニケーション不足を感じる。
- ・街路灯が一部地域のみで道路が暗い。せめて通学路には灯りが欲しい。
- ・公共施設等の不具合、維持管理は大丈夫か。
- ・スーパーがない、食料品店が少ない。
- ・ビジョンがない。
- ・地区により人口減少が著しい。

### どんな町になってほしいか

- ・道路環境や公園、緑地の環境整備に力を注いでほしい。
- ・常に集客できる町
- ・人口増加に力を入れて。
- ・災害の少ない安心安全な町
- ・若者の定住を促進し、働く場所の確保を。
- ・住みよい町、住みたい町
- ・観光化の推進。
- ・アウトドア施設など、遊びの施設を整備。

### 町議会に期待することは

- ・町の活性化に繋がる質問

自分の掲げた公約を守ってほしい。

議会以外の活動が何をやっていくのか分からないので、周知してほしい。

町当局の承認のみだけでなく、議会の独自性を。住民の意見をよく聴いて町議会の役割を果たしてほしい。

女性目線での意見などを聞くことも大事なので、女性議員がいてほしい。

### 議論してほしいもの

- ・住みやすいまちづくり
- ・スーパー誘致
- ・少子高齢化対策、人口増対策
- ・高齢化により、草刈りなど自治会活動に支障が出ている。より良い解決策を考えてほしい。

### その他

- ・給食費無償化など複数の議員が質問していた。事前に質問内容の調整をすべき。
- ・傍聴者が少ないのが残念。傍聴者が増えて活気のある議会にして欲しい。
- ・傍聴席から声が聞き取りにくい。

## 委員会 レポート

## 産業厚生常任委員会 環境の維持管理に万全を

11月20日に道路の環境整備について調査した。

県道・町道・林道脇などに生い茂っている、雑草や支障木の状況について、現地を確認した。

建設課で管理する町道、農林水産課で管理する農道などの維持管理、特に通学路や、道路通行に支障をきたしている雑草や支障木の管理を徹底させたい。

また、作業にあたっては、大型のハンマーモア2台、



▲道路を覆うように枝が伸びている

斜面草刈り機5台、押しハンマーモア1台、肩掛け式草刈り機6台などの有効活用をはかり、作業員個人委託者についても増員し充実を図りたい。

温暖化の中で、草や木々の伸びがかなり顕著に生い茂る時代となった。新地町は宮城県と接している事から、国道・県道・町道に限らず、U字溝や歩道も含め、国や県に対して要望し、予算を確保して、環境の維持管理に万全を期されたい。

# 産業厚生常任委員会

## 先進地視察

### 6次産業化 農業担い手育成 子育て支援を学ぶ

10月21日から23日、山形県東置賜郡川西町、西村山郡西川町、山形県天童市で研修した。

#### 川西町

##### 「6次産業化」

川西町では、米をはじめとする農産物の価格低迷から、町民所得の減少が課題だった。第4次川西町総合計画後期基本計画において「6次産業化推進プロジェクト」として、農村資源を活用した所得の向上を掲げ、生産のみならず、加工、販売も手がけた総合産業化と、新たな雇用の創出を目指し



▲川西町での研修

事業化に向け取り組んでいる。戦略的品目の導入、ブランド品の登録商標、6次産業化推進員の配置、週3日農家訪問を行うなど、人材育成に力を入れている。

また、特徴として6次産業拠点施設として整備した「かわにし森のマルシェ」は、買取販売、レストラン、惣菜の3部門が運営し、

農産物の販売レストランメニュー、惣菜の提供、定期的なイベントの開催を推進している。6次産業化を進めるには、個人では時間と投資でリスクが大きいため、川西町のように、生産者と町と事業者が強力で連携し、取り組む必要がある。

#### 西川町

##### 「農業担い手育成事業」

西川町は新規就農者を拡大するため、さまざまな補助メニューを準備している。認定農業者は現在17名で、地域おこし協力隊から1名の新規就農者があった。農業の担い手が少なく、農家の高齢化もあり、作業の省力化を目的に、ロボット草刈りや温度管理センサーなどの「スマート農業」を導入している。

また、西川町は町づくりの指標としてデジタル庁を調査し、「地域幸福度指標全国調査」を活用して全国



▲西川町での研修

平均より上位になるように、様々な事業を行っている。交流人口はもとより「関係人口」を増やす事に重点をおいた取り組みを実施。関係人口拡大の主なものとして、地域おこし協力隊インターン住民票の発行など、さまざまな施策を展開しており、当町のまちづくりにも参考にすべき点である。

#### 天童市

##### 「子育て未来館 げんキッズ」

子育て支援日本一を目指す天童市の子育て支援拠点施設「子育て未来館げんキッズ」は、親と子、子ども同士、保護者同士の交流



▲人気の遊具「ラ・フランチタワー」

の場として、市内外から多くの利用があり、令和6年で250万人を達成する見込みである。施設は室内遊び場のほか、子育て支援センターも兼ねている。親の「育児力」、親と子の「家族力」、子どもの「成長力」、市民の「子育て支援力」4つの力をアップする、という基本理念に基づいて運営されている。

当町でも子育て世代の方々から、屋内で遊べる施設を望む声がある。参考となる施策を、さまざまな方向から検討されたい。

# 総務文教常任委員会

## 的確な課税客体の把握を

10月23日に課税・徴収の現状と今後の課題について調査した。

町税の収入済額は、令和元年度が約21億7580万円、令和5年度は約21億7870万円で、年度毎には増減はあるものの、ほぼ横ばいで推移している。町税のうち、固定資産税は税収の76%程度を占め、貴重な財源となっているが、この固定資産税の増減により、地方交付税の交付・不交付の区分変更により大きな影響を与えるものである。

町税の収入未済額は、年々増加傾向にあり個別相談や資産等の差押えにより収納に努めているが、町税の滞納率は上昇傾向にある。想定項目（係数）の検証や誘致企業の新設・増設等の設備投資動向等の把握等、引続き的確な課税客体の把握に努められたい。

## 地元企業の情報発信を

11月20日に町内企業を訪問し、企業の現状や町に対する要望など意見交換を行った。

#### シチズン時計 マニユファクチャリング 株式会社東北相馬工場

前身の多摩精密(株)は新地の誘致企業1号であり、グループ企業の統合などを経て、60年以上地元企業のとして地域に貢献していた。メインで製造しているのは高級路線の腕時計である。

要望としては、工場周辺の水はけが悪く、南側が高くなっている様な谷地の地形であることから、大雨の際には敷地内に水が溜まり、それが国道側まで流れ、それが周辺にも迷惑をかける事もあるため、町道に側溝を入れるなどの対応を



望む声があった。また、新規採用に関しては、旧新地高校も閉校したことで、今後、地元採用が厳しくなることが予想されることから、町からの求人情報の発信強化もお願いしたいとの意見をいただいた。

#### 株式会社福島ニチアス

昭和63年操業を開始し、現在、工業製品・高機能製品・自動車製品の3つの事業を展開している。半導体分野の製品群を取り扱っており、第8工場まで拡張している。町に対する要望と



以上、2社からの要望等を受け、町として可能な限りの支援や事業を展開されたい。また、他の町内企業に関しても、継続的に意見交換を行い、町で長く事業を継続いただけるよう、可能な支援を続けられたい。

# ようこそ新地町へ

## 自然豊かで閑静な町

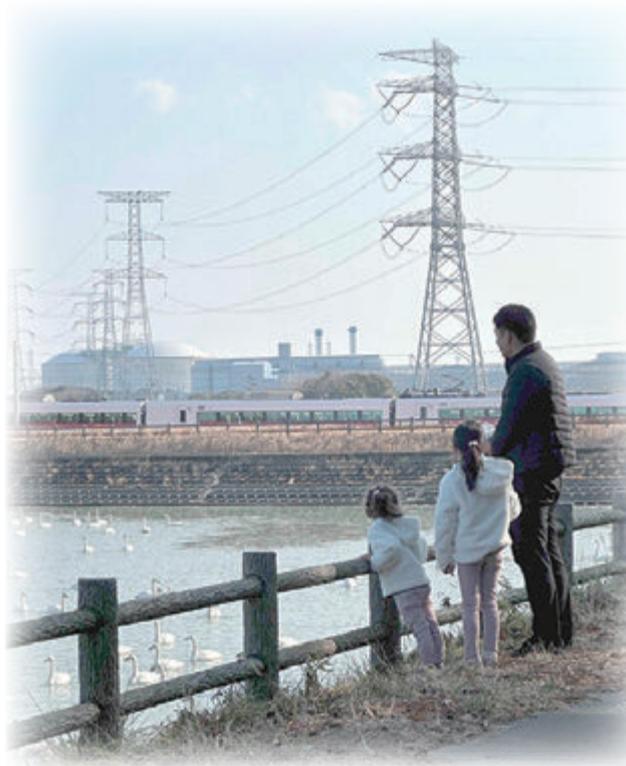
中島地区にお住まいの齋藤 繁さんに、新地町の印象や、望むことなど、お話を伺いました。

### 新地町に居住したきっかけ

前職は宮城県岩沼市で公務員をしておりましたが、妻の父が経営する新和工業株式会社を将来継いでいくため、岩沼市から転居しました。

### 町の印象は

出身が相馬市ということもあり、小さい頃から新地町には縁がありました。小学校の遠足で鹿狼山に登ったり、夏は釣師浜海水浴場で泳いだり、遊海しんちで花火を見て楽しんだり、小中高時代を通して楽しい思い出があります。実際に住んでみると、大きく3つの地区（福田・新地・駒ヶ嶺）を中心に比較



的コンパクトに集約されており、仙台や福島への交通（車）のアクセスもよく、あまり不便は感じません。また、自然豊かで閑静なまちのため、住みやすいと感じます。

人口こそ、そこまで多くはありませんが、大企業の立地による税収などによる町の財政力指数も高く、まちのポテンシャルも高いと思います。

### 町に望むこと

生鮮食品の品目によっては、町外に足を運んで購入しなければならないため、

スーパーマーケットなどの生活利便施設が増えていくことにより、今以上に快適に過ごせるようになると思います。子どもには様々なジャンルの習い事をさせたい（本人の意見を尊重しながら）ので、町内で習い事教室等を起業しやすい環境整備や支援策等の充実化を図るなど、より多くのことが町内で完結できるようになれば、さらに良いまちになっていくのではないのでしょうか。

## 編集後記

昨年は、能登半島地震に始まり、豪雨災害、夏の猛暑など自然災害が多い年でした。皆さんにとっては何年な1年だったのでしょうか。

2025年、今年の干支は「乙巳」(乙、きのと)は、十干の2番目で「木」の要素、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また、巳(みへび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから、不老不死のシンボルともされ、乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると言い伝えられています。

私たちも、多様な変化をとらえ、柔軟な発想で、町の発展に貢献してまいります。と思います。

(大内 広行)

### 編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 村上 勝則 |
| 副委員長 | 吉田 博  |
| 委員   | 八巻 秀行 |
| 委員   | 牛坂 毅志 |
| 委員   | 大内 広行 |



### プロフィール

さいとう しげる  
齋藤 繁さん (中島地区)  
福島県相馬市出身  
妻と子ども2人の4人暮らし